

7月1日(火)に、4・5年生を対象に行いました水難事故防止のための「出前授業」の様子が、福井新聞(7月2日)に掲載されました。

夏休みの海の事故 命守れ

敦賀・黒河小で海保出前教室



救命胴衣の着用を学ぶ児童＝1日、敦賀市黒河小

児童が救命胴衣の着用学ぶ

海での事故を防ぐと敦賀市黒河小で1日、敦賀海上保安部の保安官による出前教室が行われた。4、5年生が触ってはいけない海の危険生物や救命胴衣の着け方を学んだ。

児童の安全意識の向上を目的に、市水難救難所が毎年、夏休み前に開いている。

近づくこと危ない海の生き物は、海水浴場に出没する

イルカなどをクイズ形式で学んだ。救命胴衣は保安官の実演の後、膨張式と浮体式の2種類を着用してみたり、膨らみ具合を確かめたりした。

水難事故の原因の一つの離岸流についても映像で学んだ。流された時は、海岸に並行して泳ぎ、離岸流から抜け出したら岸に向かう泳ぎ方を教わった。

(安藤陽介)